

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第86集

市内遺跡発掘調査報告書 1999

2001.3

佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第86集

市内遺跡発掘調査報告書 1999

2001.3

佐久市教育委員会

例 言

1. 本書は1999年度（平成11年度）において個人住宅、民間開発及び公共開発に係る試掘調査並びに立会い調査を実施した市内遺跡発掘調査報告書である。

2. 事務局の構成

2000年度（平成12年度）

◎発掘調査受託者 教育長 依田 英夫

事務局

教育次長 小林 宏造

文化財課長 草間 芳行

文化財係長 萩原 一馬

文化財係 林 幸彦 須藤 隆司 小林 眞寿 羽毛田 卓也

富沢 一明 上原 学 山本 秀典 出澤 力

調査主任 佐々木 宗昭 森泉 かよ子

3. 各遺跡の執筆は発掘担当者が行い、編集は上原が行った。

4. 本書掲載の関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管してある。

目 次

1. 戸板遺跡群四ツ塚遺跡Ⅱ	1	20. 周防畑遺跡群 8	28
2. 宮の前遺跡 1 (隣接)	3	21. 中西ノ久保遺跡群 2	30
3. 周防畑遺跡群 6 (隣接)	4	22. 西赤座遺跡 10	32
4. 円正坊遺跡 V	5	23. 東五里田遺跡 3	34
5. 金山遺跡 3 (隣接)	6	24. 松の木遺跡 2 (隣接)	35
6. 跡坂遺跡群 7	8	25. 周防畑遺跡群 9	36
7. 岩村田遺跡群 23	9	26. 未周知	38
8. 一本柳遺跡群 8	10	27. 枇杷坂遺跡群 17	39
9. 中原遺跡群 22	11	28. 尾塚遺跡 2	40
10. 猿久保屋敷添遺跡 4	12	29. 周防畑遺跡群 10	41
11. 枇杷坂遺跡群 16	14	30. 上の木戸遺跡 1	42
12. 樋村遺跡群 1	16	31. 未周知	43
13. 周防畑遺跡群 7	18	32. 野沢館跡 5	44
14. 三千束遺跡群 2	20	33. 深瀬遺跡群 4	45
15. 中原遺跡群 23	21	34. 館ヶ沢 A 遺跡 1	46
16. 西浦遺跡群 2	22	35. 一本松巻跡 1 (隣接)	47
17. 吹付遺跡 1	23	36. 栗毛坂遺跡群 18	48
18. 岩村田遺跡群 24	25	37. 新町遺跡 7	49
19. 西近津遺跡群 3	27		

付表 1999年度市内遺跡発掘調査一覧表

付図 1999年度市内遺跡発掘調査位置図

試掘調査

1 戸坂遺跡群四ツ塚遺跡Ⅱ

所在地 佐久市大字新子田字供養塚841-3外8筆

開発主体者 佐久市土地開発公社

開発事業名 市道39-67号改良工事

調査期間 平成11年4月15日

面積 1,017.5㎡

調査担当者 上原 学



四ツ塚遺跡Ⅱ位置図 (1:10,000)

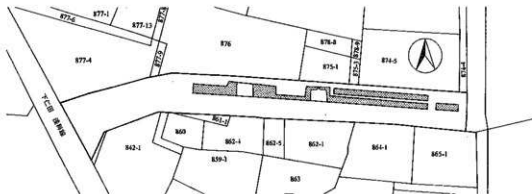
立地と経過

戸坂遺跡群は佐久市の東、新子田地積にあり、湯川の東に広がる台地東端付近に展開する。標高は704m内外を割る。調査区は遺跡群の東にあり、付近では平成10年度に北に位置する供養塚遺跡及び東に位置する四ツ塚遺跡Ⅰの調査が行われ、古墳から奈良時代の住居址などが確認されている。

今回、佐久市土地開発公社による市道39-67号改良工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に東西方向のトレンチを設定し、遺構の確認を行った。その結果、トレンチ西側から中世の溝跡あるいは住居址と考えられる落ち込みが認められ、また、トレンチ中央付近からは北にカマドを伴うと考えられる住居址1軒を確認した。遺物は遺構確認面上にて土師器片が数点出土した。このため協議により、本調査を行う運びとなった。



四ツ塚遺跡Ⅱ調査全体図 (1:2,000)



調査状況（西から）



住居址検出状況（南西から）

試掘調査

2 宮の前遺跡1(隣接)

所在地 佐久市大字塚原字塚下 815-1

開発主体者 佐久市 児童課

開発事業名 児童館建設

調査期間 平成 11 年 5 月 25 日

面積 755㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

宮の前遺跡は佐久市の西部の塚原に所在する。この塚原地帯は浅間の火山活動により形成された「流山」と通称言われる小高い山が水田面より立ち並ぶ独特の景観を呈する地域である。これら流山は、近世に至って圃場整備等で削平されてしまったものも数多いが、その山頂は藤塚古墳や根々井大塚古墳・家地頭古墳群のように古墳時代前期～後期まで墳墓として利用されている物が数多く存在する。周辺で調査された遺跡としては姫子石遺跡や藤塚遺跡などがある。

今回、児童館建設にあたり遺跡隣接地である為、遺跡の存在を確認するために事前に試掘調査をすることとなった。

調査の結果

対象地内において「L」字型にトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、調査地は表土下20cmの厚さで泥炭層が確認され、その下からは褐灰色土と赤岩泥流が確認された。遺構は確認されず、土鍋片が1点出土した。



調査状況(南から)



宮の前遺跡1(隣接)位置図(1:10,000)



宮の前遺跡1(隣接)調査全体図(1:1,000)

試掘調査

3 周防畑遺跡群6(隣接)

所在地 佐久市大字長土呂字北河原 649-1

開発主体者 佐藤 文男

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成11年6月24日

面積 1,127㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

周防畑遺跡群は佐久市の北西部に位置し、田切り台地上に広がる芝宮遺跡群・長土呂遺跡群と並ぶ大遺跡である。遺跡群内には田切先端に周防畑遺跡が存在し弥生後期から平安時代に及ぶ大集落が調査されている。今回、遺跡群隣接地において共同住宅建設が計画されたが、対象地が過去に古瓦等の採集された付近ということもあり、事前に試掘調査を実施することとなった。



周防畑遺跡群6(隣接)位置図(1:10,000)

調査の結果

対象地内に東西4本、南北1本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、遺構は確認されず、対象地全体が田切内の旧流路であることが判明した。なお、流路の砂層内から弥生土器・土師器・須恵器片が少量出土した。



周防畑遺跡群6(隣接)調査全体図(1:1,000)



調査状況(東から)

試掘調査

4 円正坊遺跡V

所在地 佐久市大字岩村田字円正坊 1292-1

開発主体者 株式会社ベシア

開発事業名 駐車場進入路

調査期間 平成11年6月28日～7月7日

面積 69m²

調査担当者 森泉 かよ子

立地と経過

円正坊遺跡は佐久市の北方、岩村駅の西にあり、標高705.90mを測る地点にある。本遺跡の西はかつて水田地帯で一段低くなっており、台地上の南端に近い遺跡である。調査区一帯は以前から遺跡として周知され、ことに弥生・古墳・平安時代を中心とした集落である。隣接する清水田遺跡は昭和54年2月に県営圃場整備事業に伴い、弥生時代後期10棟・古墳時代3棟の竪穴住居址が調査されている。平成8年の円正坊遺跡Ⅱでは、今回と同地点で弥生中期から平安時代の竪穴住居址7棟が調査されている。

今回、駐車場の入口として削平される事になり、遺構の有無を確認するため面積が狭いので全面に耕作土を除去し遺構確認をした。またすぐ東の地点も砕石搬入のため、通路としてい旨の申し出があり、トレンチを入れ、遺構面まで深さがあるので遺構確認後埋め戻した。

調査の結果

遺構 竪穴住居址 5棟 土坑 2基

単独ピット4

遺物 弥生時代中期甕・壺

土師器 甕・壺・杯

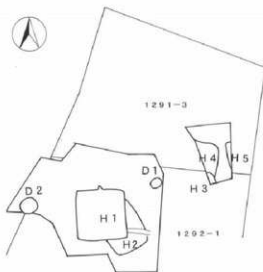
これらより遺構があることが確認された。



遺構検出状況



円正坊遺跡V位置図 (1:10,000)



円正坊遺跡V遺構確認図 (1:500)

試掘調査

5 金山遺跡 3 (隣接)

所在地 佐久市大字野沢字一丁田 316-1 外

開発主体者 株式会社 エス・エス・ブイ

開発事業名 店舗建設

調査期間 平成 11 年 7 月 5～10 日

面積 11,773㎡

調査担当者 富沢 一明



金山遺跡 3 (隣接) 位置図 (1:10,000)

立地と経過

金山遺跡は佐久市野沢のほぼ中央部に位置する。周辺部で調査された遺跡としては市道遺跡・跡部町田遺跡・寺添遺跡・宮添遺跡などがあり、古墳時代前期から平安時代までの集落址が検出されている。特に、近年調査された跡部儘田遺跡では砂に埋もれた住居址が検出され、いわゆる「仁和の水害」との関連で注目を集めている。

今回、株式会社エス・エス・ブイにより店舗建設が計画され、当周辺地域においては1万㎡以上の大規模開発であるため、開発主体者のご協力のもと事前に試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

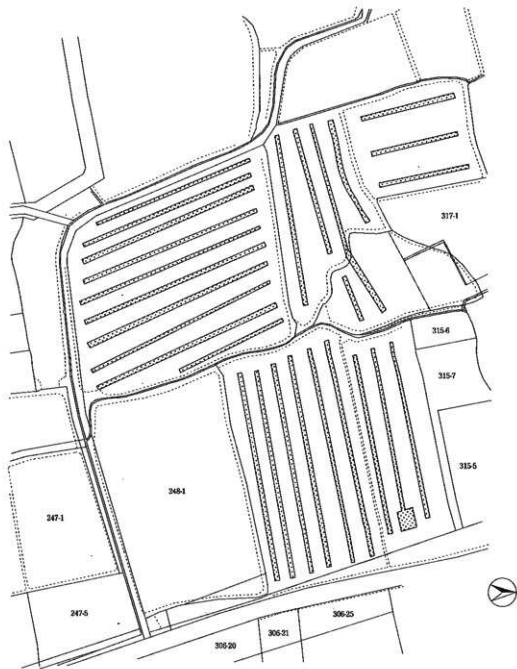
対象地内において地籍に添うようにトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、遺構は時期不明のピットが5カ所と土師器片が2点出土したのみであった。



調査状況 (北から)



調査状況 (東から)



金山遺跡3（隣接）調査全体図（1：1,000）

試掘調査

6 跡坂遺跡群 7

所在地 佐久市小田井字下金井 719-2

開発主体者 (株) 木下組

開発事業名 プレハブ平屋建設

調査期間 平成 11 年 7 月 23 日

面積 115㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

跡坂遺跡群は佐久市の最北部に位置し、湯川の右岸にそった標高 739～747 m の台地上にある。遺跡群内には鳥原古墳、からむし古墳が存在する。調査された遺跡としては平成 9 年度に農道の整備事業に先立つ発掘調査が台地を貫くように行われ、平安時代の竪穴住居址が検出されている。

今回、遺跡群内に (株) 木下組がプレハブ平屋を建設する事となり、事前に試掘調査を実施することとなった。



跡坂遺跡群 7 位置図 (1 : 10,000)

調査の結果

対象地の建物基礎部分の表土剥ぎを行い遺構確認をおこなった結果、遺構・遺物ともに検出されなかった。



跡坂遺跡群 7 調査全体図 (1 : 1,000)



調査状況 (東から)

試掘調査

7 岩村田遺跡群23

所在地 佐久市大字岩村田字池畑 346-5

開発主体者 中沢 道太郎

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成11年7月28日

面積 1,429㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

岩村田遺跡群は佐久市の北部、現在の岩村田市街地を中心とする遺跡群である。当遺跡群の特徴としては、遺跡群の東方にある中世に佐久地域で活躍した大井氏の居城であった黒岩城・王城・石並城跡や中仙道の宿場町として栄えた岩村田宿の中心街などがあることから、中世から近世にかけての遺跡が非常に密度ある状態で広がっていることである。

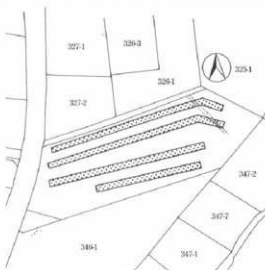
今回、遺跡群内に共同住宅建設の計画がなされ、事前に試掘調査をすることとなった。



岩村田遺跡群 23 位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地内において地籍に添うように東西4本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、調査区東側に溝状遺構が1本検出された。調査の結果を受け保護協議がなされ、建物位置をずらす保護措置がなされた。



岩村田遺跡群 23 調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (西から)

試掘調査

8 一本柳遺跡群 8

所在地 佐久市大字岩村田字下樋田1798-1 1799-1

開発主体者 (有) ライダースドック

開発事業名 店舗建設

調査期間 平成11年7月29日

面積 728㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

一本柳遺跡群は佐久市のほぼ中央部の標高690m前後の台地上に広がる遺跡群である。当遺跡群内には佐久平でも有数の遺跡密集地帯として注目されており、現在までに北西の久保遺跡や西一本柳遺跡からは弥生中期から平安時代に及ぶ大規模な集落址が検出されている。

今回、遺跡群内に店舗建設が計画され、事前に試掘調査をすることとなった。

調査の結果

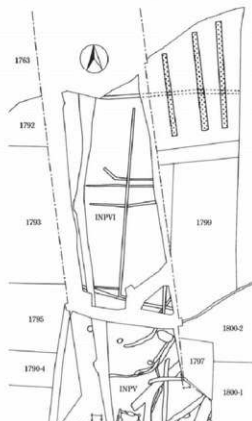
対象地内において地籍に添うように南北3本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、調査区を東西に横切るように溝状遺構が1本検出された。この溝は西隣において調査された西一本柳遺跡VIにおいて検出された溝につながると考えられた。調査の結果を受け保護協議がなされ、盛土保存の保護措置がなされた。



調査状況 (南から)



一本柳遺跡群 8 位置図 (1:10,000)



一本柳遺跡群 8 調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

9 中原遺跡群22

所在地 佐久市大字中込字大日 3713-16

開発主体者 柳沢 修二郎

開発事業名 共同住宅建築

調査期間 平成11年8月23日

面積 1,302㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

中原遺跡群は佐久市のほぼ中央部に位置し、標高680m前後の平坦な台地上の遺跡群である。近年、遺跡群内を東西に貫くように国道バイパス工事に伴い幾つかの遺跡が調査され、中でも遺跡群南端に位置する梨の木遺跡からは中世の集落址とともに「和鏡」が出土している。

今回、遺跡群内に共同住宅が建設されることとなり、事前に試掘調査を実施することとなった。



中原遺跡群22位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地内に東西3本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、遺構・遺物は確認されなかった。



中原遺跡群22調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (西から)

試掘調査

10 猿久保屋敷添遺跡 4

所在地 佐久市大字猿久保屋敷添 457-3

458-1・458-8・458-25・462-1

開発主体者 桜山 幸平 桜山 せい

開発事業名 共同住宅建設

調査期間 平成11年8月27日

面積 1,733.22㎡

調査担当者 上原 学



猿久保屋敷添遺跡 4 位置図 (1:10,000)

立地と経過

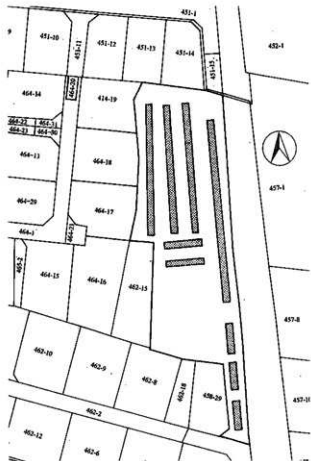
猿久保屋敷添遺跡は佐久市猿久保地積に所在し、北方を流れる湯川の左岸段丘面上に展開する。調査区は遺跡南端の段丘境にあたり、標高は695m内外を測る。付近の調査としては、平成2年11月に本調査区の北150mにおいて宅地造成に伴う試掘調査が行われ、古墳から平安時代の住居址と考えられる落ち込み9軒が確認されている。

今回、共同住宅建設が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ7本、東西方向のトレンチ2本を設定し遺構の確認を行った。

その結果、遺構の存在は認められなかった。遺物は土師器片が1片出土した。



猿久保屋敷添遺跡 4 調査全体図 (1:1,000)



調査状況（北から）



調査状況（北から）

試掘調査

11 枇杷坂遺跡群16

所在地 佐久市大字長土呂字水引 274-2・3、275-1

開発主体者 大和ハウス工業（株）長野支店

開発事業名 ガソリンスタンド及び洗車場建設

調査期間 平成11年8月31日、9月1・14日

面積 2,171㎡

調査担当者 森泉 かよ子

立地と経過

調査区は佐久市の北方、岩村田駅の北西にあり、標高710.00m～710.80mを測る地点にある。本遺跡は田切り地形の発達した台地上に展開する枇杷坂遺跡群の一つである。平成9・10年度の佐久平駅周辺土地区画整備事業に伴う道路建設の際に、弥生時代から平安時代までの堅穴住居址を検出している。

今回、ガソリンスタンド及び洗車場が当地に建設される事になり、遺構の有無を確認するためトレンチを設定し、遺構確認をした。

調査の結果

遺構 溝 1本

遺物 弥生式土器片（弥生時代） 土師器土器片（古墳時代）

274-1地番の溝状遺構は幅60cm～80cm深さ27～34cmを測る。東西方向に延び、溝底は東から西にかけて低くなり、東西で50cmの高低差があった。これは地形の傾斜と一致しており自然の流路であるかもしれない。覆土は黒褐色土層（10YR2/3）で砂粒・小石を含んでいた。遺構の中からは遺物は出土していない。

他に遺構は検出されなかった。274-2・274-3の地点は水田層が見られ、低地であった。この地点は遺構・遺物は検出されなかった。

I 耕作土

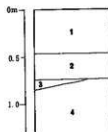
II 黒褐色土層（10YR2/2）砂粒含むが粘性ややあり。

III 黒褐色土層（10YR2/3）砂質土。小石含む。

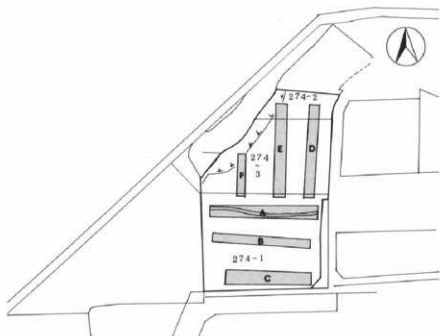
IV 層黒色土層（10YR1.7/1）やや粘質土。



枇杷坂遺跡群16位置図（1：10,000）



枇杷坂遺跡群16層柱図



枇杷坂遺跡群 16 調査全体図 (1:1,000)



Aトレンチ (西から)



Cトレンチ (西から)



Eトレンチ (南から)



Fトレンチ (西から)

試掘調査

12 樋村遺跡群1

所在地 佐久市大字平賀字山崎 2924-1、2954-2
2955-1・2、2956、2959、2960-1、2296-1
2962-1・2、2963、2965

開発主体者 佐久市農業協同組合
開発事業名 水稲育苗施設建築工事
調査期間 平成11年10月22・23日
面積 2,467.69㎡
調査担当者 上原 学



樋村遺跡群1位置図 (1:10,000)

立地と経過

樋村遺跡群は千曲川右岸の南東に広がる水田地帯に展開する。調査区は遺跡群の北に位置し、標高785m内外を測る。付近の調査例として、昭和49年に遺跡の東に所在する後家山古墳の調査が行われ、石室の一部及び切子玉、管玉、勾玉、ガラス小玉、白玉、鉄族、直刀、刀子、土師器、須恵器等の遺物が出土した。また昭和57・58年度には土地改良事業に伴う樋村遺跡の調査が行われ、弥生時代から平安時代に至る住居址約300軒が調査されている。

今回、佐久市農業協同組合による水稲育苗施設建築工事が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

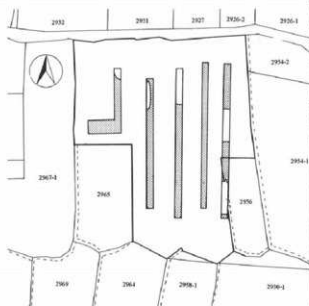
調査の結果

調査区に南北方向のトレンチ5本を設定し遺構の確認を行った。その結果、調査区内は1～1.5mの厚さで埋め土し整地されていることが認められた。このため遺構は地表下1.2m～1.8mの暗褐色土層上面において検出した。確認できた遺構は住居址と考えられる落ち込み6軒である。



樋村遺跡群1立ち会い状況

このため遺構については、協議の結果、埋土保存する運びとなったが、遺構面に影響のある基礎部分のみ工事に立ち会い、遺構の安全を確認した。



樋村遺跡群 1 調査全体図 (1:1,000)



遺構検出状況



調査状況 (南から)

試掘調査

13 周防畑遺跡群7

所在地 佐久市大字長土呂字入高山 970-1 外

開発主体者 佐久エレクトロン（株）

開発事業名 工場建設

調査期間 平成 11 年 10 月 25 日～10 月 27 日

面積 2,724㎡

調査担当者 富沢 一明



周防畑遺跡群7位置図 (1:10,000)

立地と経過

周防畑遺跡群は佐久市の北西部に位置し、田切り台地上に広がる芝宮遺跡群・長土呂遺跡群と並ぶ大遺跡である。遺跡群内には田切り先端に周防畑遺跡が存在し弥生後期から平安時代に及ぶ大集落が調査されている。

今回、遺跡群内において工場建設が計画されたため、事前に試掘調査を実施することとなった。

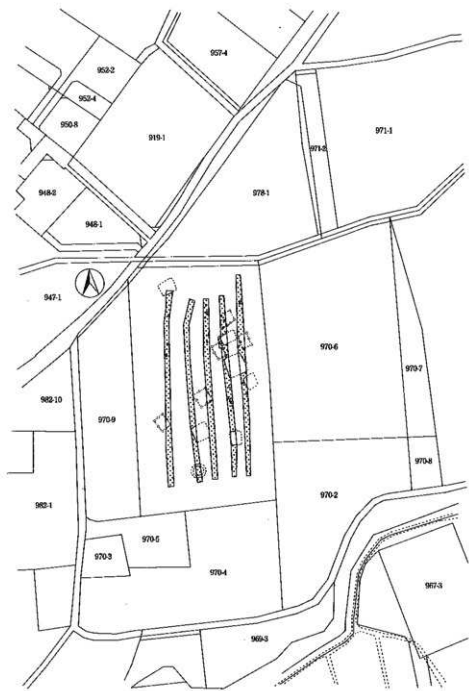
調査の結果

対象地内に南北5本のトレンチを設定し試掘調査を行った。その結果、調査地は濁川に向かって南側に緩やかに傾斜する地形であった。遺構は竪穴住居址6軒、掘立柱建物址5棟以上、土坑3基以上、円形周溝墓1基などが検出された。検出された遺構は出土した遺物より奈良・平安時代と推定された。調査の結果を受け、保護協議がなされたが工場建物の設計変更は難しく、発掘調査による記録保存がなされる事となった。



調査状況 (南から)

調査状況 (北から)



周防畑道跡群 7 調査全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

14 三千束遺跡群2

所在地 佐久市大字三塚字宮添 83-5 外

開発主体者 佐久市農業協同組合

開発事業名 事務所建設

調査期間 平成 11 年 10 月 28 ～ 30 日

面積 500m²

調査担当者 富沢 一明



三千束遺跡群2位置図 (1:10,000)

立地と経過

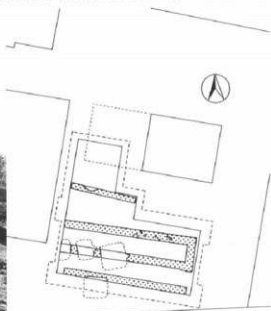
三千束遺跡群は佐久市の南部、野沢平のほぼ中央部に位置する。遺跡群は周囲の水田よりも0.5～1m程高く沖積微高地を形成している。周辺部で調査された遺跡としては、市道遺跡Ⅰ・Ⅱ、寺添遺跡、三塚遺跡、跡部町田遺跡などがあり、いずれも古墳後期～平安時代に及ぶ集落址が検出されている。今回、遺跡群内において事務所建設が計画された為、事前に試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

対象地内に東西4本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、調査地は東に向かって緩やかに傾斜する地形であった。遺構は竪穴住居址4軒、掘立柱建物址2棟以上、竪穴状遺構等が検出された。出土した遺物は土師器・須恵器や青磁片があった。調査の結果を受け、保護協議がなされたが事務所建物の設計変更は難しく、発掘調査による記録保存がなされる事となった。



調査状況 (南から)



三千束遺跡群2調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

15 中原遺跡群23

所在地 佐久市大字中込字梨ノ木 3803-1

佐久市大字三河田字大塚 407-1

開発主体者 有限会社田園不動産

開発事業名 建売分譲用地造成

調査期間 平成11年11月19日

面積 2,815㎡

調査担当者 羽毛田 卓也



中原遺跡群 23 位置図 (1:10,000)

立地と経過

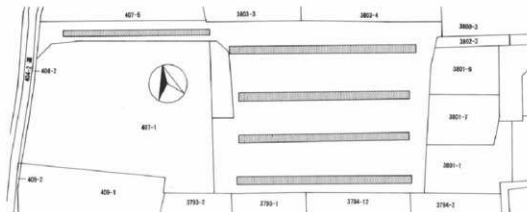
中原遺跡群は佐久市今井・横和・中込に展開する縄文～平安時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は、遺跡群中央に位置する。今回有限会社田園不動産による建売分譲用地造成が計画されたため試掘調査を行った。



トレンチ掘削状況

調査の結果

対象地の東西方向にトレンチを褐色ローム層に達する43～46cm まで5本掘削した結果、遺構は確認されなかった。遺物は平安時代の土師器片、江戸時代の陶磁器片が出土した。土層は2層に分割された。第1層は耕作土で、第2層は砂質ローム粒子を少量含む暗褐色土層であった。



中原遺跡群 23 試掘トレンチ設定図 (1:1,000)

試掘調査

16 西浦遺跡群2

所在地 佐久市大字本新町字上木戸236-1外

開発主体者 井出 公司

開発事業名 アパート建設

調査期間 平成11年11月24・25日

面積 1,448㎡

調査担当者 富沢 一明

立地と経過

西浦遺跡群は佐久市の南部である野沢平の水田地帯内に位置し、遺跡群は周辺水田面よりも僅かに高く微高地状を呈する。周辺部において調査された遺跡は少なく、当遺跡群の北東700mに儘田遺跡がある。儘田遺跡は昭和45年に調査され奈良・平安時代の住居址4軒が検出されている。

今回、遺跡群内にアパート建設の計画がなされ、事前に試掘調査をすることとなった。



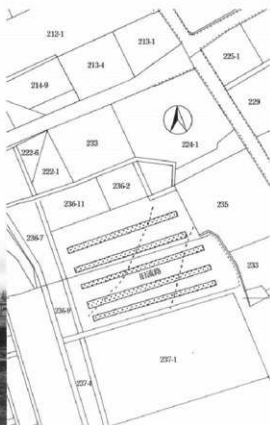
西浦遺跡群2位置図 (1:10,000)

調査の結果

対象地内において地籍に添うように東西5本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、調査区全体は北に向けて緩やかに傾斜する地形で、中央部より旧流路と考えられる礫層が確認されたのみで、遺構は検出されなかった。



調査状況 (西から)



西浦遺跡群2調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

17 吹付遺跡1

所在地 佐久市大字香坂字曲尾314番1

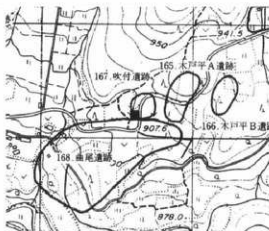
開発主体者 NTT移動通信網株式会社

開発事業名 通信用鉄塔建設

調査期間 平成11年12月8～10日

面積 339.7㎡

調査担当者 須藤 隆司



吹付遺跡1位置図 (1:10,000)

立地と経過

吹付遺跡は、佐久市大字香坂地籍に所在し、香坂川に面した山麓緩斜面に立地する。本遺跡では、上信越自動車道建設に伴う発掘調査が行われており、住居址12軒からなる縄文時代中期後葉の集落が確認されている。

今回、NTT移動通信網株式会社が遺跡内に通信用鉄塔建設事業を計画したため、試掘調査を実施した。



吹付遺跡1調査区

調査の結果

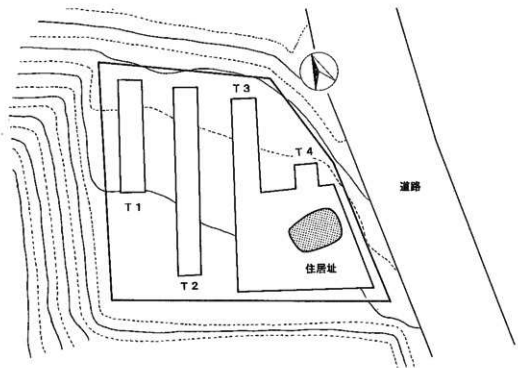
南北方向のトレンチ4本を設定して、遺構・遺物の確認調査を行った。

その結果、トレンチ4で縄文時代中期後葉の住居址1軒が検出されたため、住居址の範囲を確認した。

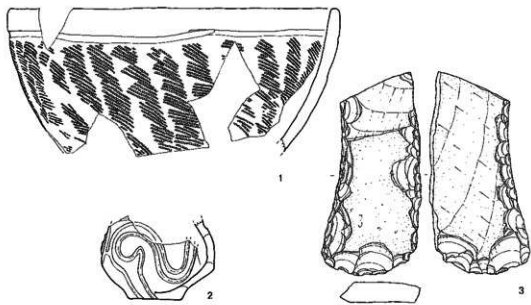
また、トレンチ2・3の北半では、浅間一板鼻褐色軽石群下位層までの調査を行ったが、ローム層中の遺物は検出されなかった。検出された住居址は埋め土保存された。



吹付遺跡1住居址検出状況



吹付遺跡1 調査全体図 (1:300)



吹付遺跡1 出土遺物 (1・2 縮尺1:3, 3 縮尺1:2)

試掘調査

18 岩村田遺跡群24

所在地 佐久市大字岩村田字上木戸 938 外

開発主体者 株式会社 名鉄建設工業

開発事業名 店舗建設

調査期間 平成 11 年 11 月 8 ～ 10・13 ～ 16 日

面積 3,887.14m²

調査担当者 富沢 一明



岩村田遺跡群 24 位置図 (1 : 10,000)

立地と経過

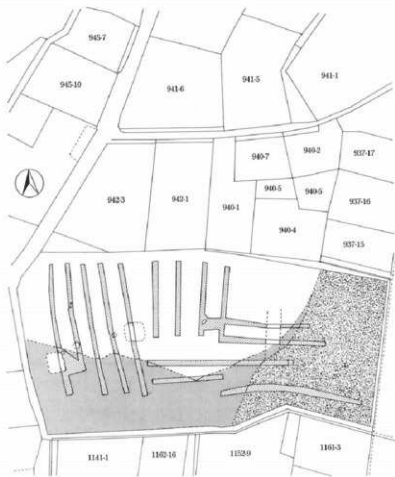
岩村田遺跡群は佐久市の北部、現在の岩村田市街地を中心とする遺跡群である。当遺跡群の特徴としては、遺跡群の東方にある中世に佐久地域で活躍した大井氏の居城であった黒岩城・王城・石並城跡や中仙道の宿場町として栄えた岩村田宿の中心街などがあることから、中世から近世にかけての遺跡が非常に密度ある状態で広がっていることである。周辺部で調査された遺跡としては、柳堂遺跡・内西浦遺跡・観音堂遺跡などがあり、いずれの遺跡も中世の所産と考えられている。このうち内西浦遺跡は出土遺物や井戸址の多さなどから一般的庶民の集落ではなく、職人の居住地域ではなかったかという考察もなされている。また、観音堂遺跡は 14 世紀後半～ 15 世紀にかけて存続した中世岩村田宿の一角と考えられ、社堂や墓地として利用された地域と考えられている。

今回、遺跡群内に株式会社 名鉄建設工業により店舗建設の計画がなされ、遺跡の存在を確認するために、事前に試掘調査をすることとなった。

調査の結果

対象地内において東西・南北方向それぞれに計 14 本のトレンチを設定し試掘調査をおこなった。その結果、調査地は南に向けて緩やかに傾斜する地形で、対象地西側で竪穴住居址 2 軒（弥生時代・平安時代）が検出された。また、南側部分は弥生時代の遺物が混入する黒色土が厚さ 30cm で広く堆積し包含層を形成していた。調査区東側については砂層主体の旧流路と考えられる地形が検出され、この流路に被さるように中世と考えられる溝状遺構が 1 本確認された。

調査の結果を受け、現在保護協議がなされている。



岩村田遺跡群 24 調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (南から)



調査状況 (西から)

試掘調査

19 西近津遺跡群3

所在地 佐久市大字長土呂字上大豆塚

1933-2、1933-3

開発主体者 大進建設株式会社

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成11年12月21日

面積 1,117㎡

調査担当者 出澤 力



西近津遺跡群3位置図(1:10,000)

立地と経過

西近津遺跡群は、佐久市岩村田市街地の北西約1.2kmの台地上に展開している。本調査区は遺跡群を東西方向に横切るJ R小海線中佐都駅から緩やかに南に向かって下に傾斜したところがあり、標高はおおよそ699m内外を測る。

今回、大進建設株式会社により宅地造成事業が行われることとなり、試掘調査を実施した。

調査の結果

調査区内に南北8本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行ったが、遺構は確認されず、遺物については弥生土器と思われる土器片が1点確認されただけだった。



トレンチ掘削状況(南から)



西近津遺跡群3調査全体図(1:1,000)

試掘調査

20 周防畑遺跡群8

所在地 佐久市大字長土呂字北上宮久保 900-2

字菱林 907-1

開発主体者 株式会社 浅間農場

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成11年11月8日～11月26日

面積 13,927.44㎡

調査担当者 林 幸彦



周防畑遺跡群8位置図 (1:10,000)

立地と経過

周防畑遺跡群は、佐久市北部田切り地形の台地上に南北に長く展開している。標高は700m～750mを測る。当遺跡群内700m付近の周防畑遺跡Bでは弥生時代後期～平安時代の竪穴住居址41軒等が、710m以上の若宮遺跡I・II、南近津遺跡、周防畑遺跡Aでは、古墳～平安時代の集落が検出されている。特に周防畑遺跡A付近からは、布目瓦や軒丸瓦が出土しており、古代の政治・文化の中核地ではとされている。

今回、株式会社浅間農場が宅地造成を計画したので、試掘調査を実施した。

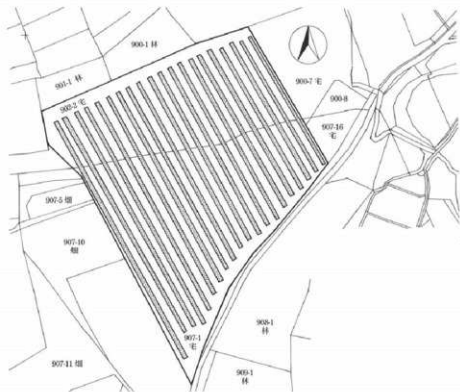
調査の結果



周防畑遺跡群8トレンチ近景

調査対象地に、幅1.5mの試掘トレンチを南北に20本設定し、遺構の有無を調査した。

精査の結果、遺物・遺構ともに検出されなかった。



周防細道跡群 8 調査全体図 (1:1,000)



周防細道跡群 8 トレンチ近景 (西から)

試掘調査

21 中西ノ久保遺跡群2

所在地 佐久市大字岩村田字南西の久保 2426

開発主体者 萩原 正人

開発事業名 店舗建築

調査期間 平成11年11月16日～11月20日

面積 754㎡

調査担当者 林 幸彦



中西ノ久保遺跡群2位置図 (1:10,000)

立地と経過

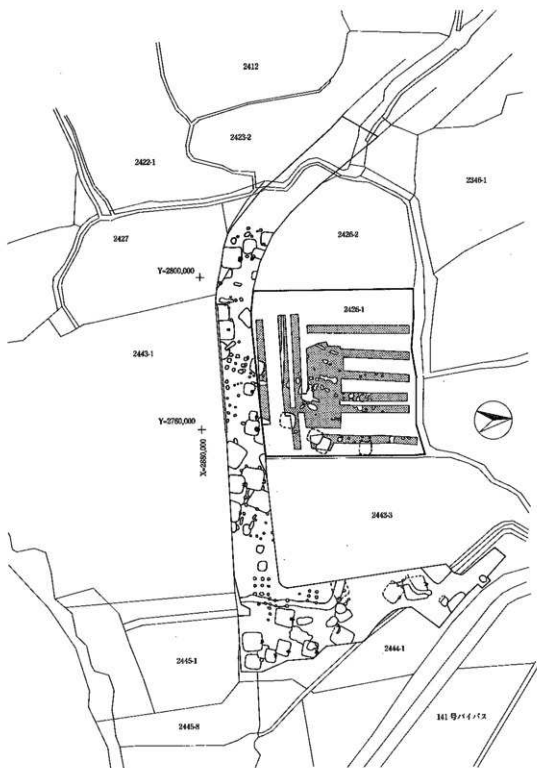
中西ノ久保遺跡は、湯川の段丘上にあり標高680mを測る。湯川との比高は約10mで、遺跡の所在は希薄であると考えられてきた。高位の台地上には、多量の形象埴輪を出土した古墳群、弥生時代中期・後期、古墳時代中期、平安時代の集落が検出された北西ノ久保遺跡が所在する。その東の一本柳遺跡群では弥生～平安時代の大規模な集落が調査されている。1992年度に佐久公共下水道工事に伴ってこの低位の段丘で初めて発掘調査が中西ノ久保遺跡Ⅰで実施された。予想を覆して古墳時代～平安時代の竪穴住居址18軒等が検出され、1995年度の国道141号バイパス工事に伴う中西ノ久保遺跡Ⅱの調査では、古墳から平安時代の竪穴住居址34軒等が確認された。1996・1997年には、市道改良に伴い中西ノ久保遺跡Ⅲ・Ⅳの調査が行われ、竪穴住居址39軒、掘立柱建物址7棟が検出された。今回、萩原正人氏が店舗を建設するため、試掘調査を実施した。



中西ノ久保遺跡群2トレンチ近景

調査の結果

調査対象地に幅1.5mの試掘トレンチを東西に3本、南北に6本設定し、遺構の有無を調査した。精査の結果、表土下60cmで遺構確認面に達した。竪穴住居址と考えられるもの7軒、掘立柱建物址1～3棟等が検出され、土師器や須恵器片が出土した。保護協議の結果、表土より30～50cmの盛土後、工事着工となった。



中西ノ久保遺跡群2調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

22 西赤座遺跡10

所在地 佐久市大字岩村田字東赤座

3738-1-5・6・7

開発主体者 萩原 福太郎

開発事業名 宅地造成

調査期間 平成11年11月30日

面積 1,212.91㎡

調査担当者 林 幸彦



西赤座遺跡10位置図 (1:10,000)

立地と経過

西赤座遺跡は、佐久市の北部栗毛坂遺跡群の南西側にあり、標高は735m内外を測る。

1990年に市道建設に伴い遺跡のほぼ中央は発掘調査され、古墳時代から平安時代の竪穴住居址19棟等が検出されている。さらに、1994年には佐久長型中学校の駐車場・ランド造成工事に先立ち試掘調査され、36棟の竪穴住居址等が検出されている。

今回、萩原福太郎氏が宅地造成を計画したので、事前に試掘調査を実施した。



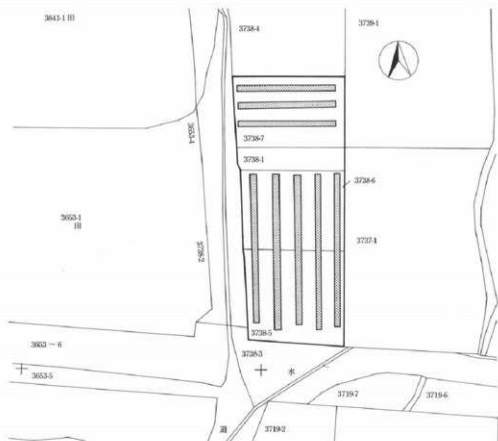
西赤座遺跡10トレンチ近景(南西から)

調査の結果

調査対象地に、幅1.5mの試掘トレンチを東西に3本、南北に5本設定し、重機により表土を削平した。精査の結果、表土下25～60cmの深さで浅間第一軽石流(P1)に至った。

刃部・基部を欠損する打製石斧が1点出土した。

遺構は検出されなかった。



西赤塚遺跡 10 調査全体図 (1:1,000)



西赤塚遺跡 10 トレンチ五景 (南から)

試掘調査

23 東五里田遺跡3

所在地 佐久市大字野沢 341-6
開発主体者 佐久市 消防課
開発事業名 消防用防火水槽新設工事
調査期間 平成12年2月1日
面積 86.53㎡
調査担当者 出澤 力



東五里田遺跡3位置図 (1:10,000)

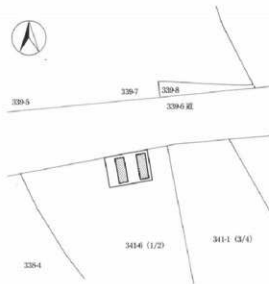
立地と経過

東五里田遺跡は佐久市野沢に所在し、標高は672m内外を測る。この地域は野沢平のほぼ中央、千曲川と片貝川に挟まれた帯状の微高地を形成しており、この微高地上には多くの遺跡の存在が知られている。

今回、佐久市消防課により消防用防火水槽建設工事が計画されたため、試掘調査を行った。

調査の結果

調査区内に南北2本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



東五里田遺跡3調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (南方から)

試掘調査

24 松の木遺跡2(隣接)

所在地 佐久市大字岩村田 1361
開発主体者 佐久市 消防課
開発事業名 消防用防火水槽新設工事
調査期間 平成 12 年 2 月 9 日
面積 86.53㎡
調査担当者 出澤 力



松の木遺跡2(隣接)位置図(1:10,000)

立地と経過

本調査対象地は佐久市立浅間中学校の敷地内であり、西側に隣接する松の木遺跡から国道141号バイパス建設に伴う埋蔵文化財調査により弥生～古墳時代にかけての住居址等の遺構が発見されている。また、対象地より南には国蔵山古墳が隣接している。

今回、佐久市により消防用防火水槽建設工事が行われるに当たり、遺構の有無を確認するため試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

調査区内に東西2本のトレンチを掘り下げ遺構の確認を行ったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



松の木遺跡2(隣接)調査全体図(1:1,000)



調査状況(南方から)

試掘調査

25 周防畑遺跡群9

所在地 佐久市大字長土呂

1739-4、1739-9

開発主体者 株式会社カウベルエンジニアリング

開発事業名 工場建設

調査期間 平成12年2月16日

面積 582㎡

調査担当者 上原 学・出澤 力



周防畑遺跡群9位置図(1:10,000)

立地と経過

周防畑遺跡群は佐久市の北西、長土呂地積に所在し、東西を佐久平地域特有の田切りに挟まれた南北方向に長い台地上に展開する。

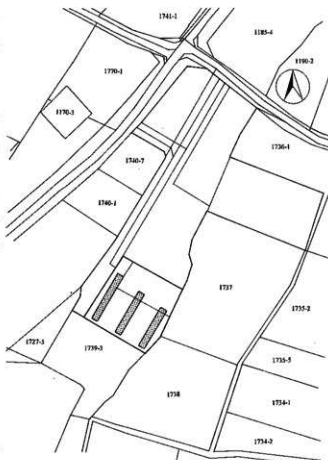
調査区は遺跡群の南西、西近津遺跡群境界付近の標高708m内外を測る台地上に位置する。

今回、株式会社カウベルエンジニアリングによる工場建設事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。

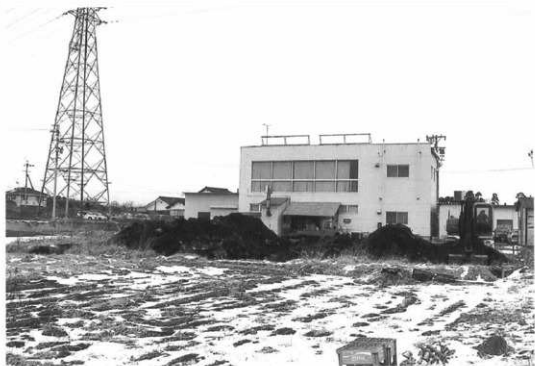
調査の結果

調査区に南北方向のトレンチを3本設定し遺構の確認を行った。

その結果、調査区内は土取りされた後、2～3m埋め土されていることが判明し、遺構が存在する可能性のある地山はすでに削り取られていた。このため遺構・遺物は確認できなかった。



周防畑遺跡群9調査全体図(1:1,000)



調査状況（南から）



調査状況（南から）

試掘調査

26 未周知

所在地 佐久市大字中込 2336-1、2337-1、
2338-1、2335-2

開発主体者 佐久市 情報政策課

開発事業名 地域情報センター建設

調査期間 平成12年2月23日

面積 2,800㎡

調査担当者 上原 学・出澤 力



調査対象地位位置図 (1:10,000)

立地と経過

本調査対象地は未周知の埋蔵文化財包蔵地である。清津川と千曲川の間に沿って北西に伸びる自然堤防上に立地し、旧中央市場跡地に当たる。

今回、佐久市により地域情報センター建設事業が計画されたため、それに伴い試掘調査による遺構・遺物の確認が行われることとなった。



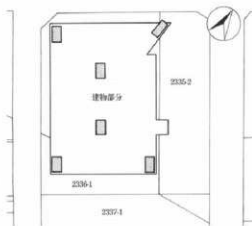
調査状況 (南から)

調査の結果

遺構の破壊のおそれのある建物の基礎部分等にトレンチを6本掘り遺構・遺物の確認を行った。

表土の下に埋土と思われる礫まじりの層があり、その下から水田跡と思われる旧耕作土が60cmから厚い所で120cm堆積しているのを確認した。

遺構、遺物は確認されなかった。



調査全体図 (1:1,000)

試掘調査

27 枇杷坂遺跡群17

所在地 佐久市大字岩村田字円正坊 1281-5-6

開発主体者 佐久市 区画整理課

開発事業名 岩村田西本町沿道土地区画整理

調査期間 平成12年2月17日

面積 266㎡

調査担当者 森泉 かよ子



枇杷坂遺跡群17位置図 (1:10,000)

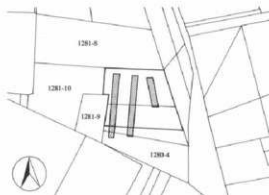
立地と経過

調査区は佐久市の北方、岩村田駅の西にあり、標高705.90mを測る地点にある。本遺跡の西はかつて水田地帯で一段低くなっており、台地上の南端に近い遺跡である。調査地点は遺跡群の南東端にあたり遺跡として周知され、ことに弥生・古墳・平安時代を中心とした集落である。隣接する清水田遺跡は昭和54年2月に県営圃場整備事業に伴い、弥生時代後期10棟・古墳時代3棟の竪穴住居址が調査されている。平成8年の円正坊遺跡Ⅱでは、弥生中期から平安時代の竪穴住居址7棟が調査されている。

今回、道路造築工事により削平される事になり、遺構の有無を確認するためトレンチを設定し遺構確認をした。

調査の結果

遺構・遺物とも検出されなかった。地表面から30～40cmで浅間第一軽石流の基盤層に至ったが、北側の標高の高い地点はすでに削平され自然地形は失われていた。南側はすでに重機により深部まで攪乱を受けていた。



枇杷坂遺跡群17調査全体図 (1:1,000)



調査状況 (南から)

試掘調査

28 尼塚遺跡2

所在地 佐久市大字鳴瀬字尼塚 2561

開発主体者 松井勝己

開発事業名 農地造成

調査期間 平成12年3月21・22日

面積 688㎡

調査担当者 羽毛田 卓也



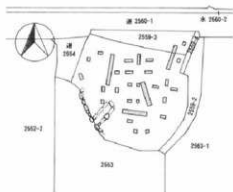
尼塚遺跡2位置図 (1:10,000)

立地と経過

尼塚遺跡は佐久市西部に所在する縄文～古墳時代にかけての複合遺跡である。今回の調査地点は、遺跡南端に位置する。今回松井勝己による農地造成が計画されたため試掘調査を行った。

調査の結果

確認トレンチは35箇所を掘削した。確認面までの土層は表土1層 (5～15cm) のみが確認された。表土の下層は削平・攪乱を免れた暗褐色埴土構築土が馬蹄形状に確認された。削平・攪乱を深く受けた場所からは地山層を観察することができた。西側が褐色火砕・砂礫層 (塚原泥流) で、中央～東側が黒褐色火砕・砂礫層 (塚原泥流) であった。泥流残丘を利用し、粘土質の暗褐色土を貼って古墳を構築しているものと考えられる。また埴土頂部の4ヶ所から火葬骨片が出土し、中世の墳墓群が構成されていたと考えられる。付近の耕地基盤整備の際に五輪塔が出土しており、既地を含め、中世の墳墓群が展開していると予想される。遺物は弥生時代後期の土器片、平安時代の土師器坏片、中世の陶磁器片、中世の火葬骨片などが出土した。



尼塚遺跡2全体図 (1:1,000)



調査状況

試掘調査

29 周防畑遺跡群10

所在地 佐久市大字長土呂字周防畑 1113-1

開発主体者 千曲錦酒造株式会社

開発事業名 工場廃水処理施設建設

調査期間 平成12年3月23日

面積 200㎡

調査担当者 小林 真寿



周防畑遺跡群10位置図(1:10,000)

立地と経過

周防畑遺跡群は佐久市長土呂に所在し、標高は600m後半～700m前半を測る。調査地は、遺跡群南半中央部に位置し、東西を北東～南西に走る田切り谷に区画されている。周辺部からは布目瓦が出土しており、古代佐久地方の政治あるいは文化の中核的な施設の存在が指摘されていた地域である。同遺跡内では、昭和54年に今回の開発予定地の北東50mの地点で周防畑A遺跡の調査により平安時代の集落が、また、昭和55年には周防畑B遺跡の調査が行われ弥生～平安の集落址が、更に昭和58年には若宮遺跡の調査が実施され古代～平安の集落址が検出されている。

今回は、平成8年度に千曲錦酒造株式会社で観光酒倉が計画され、試掘調査を実施し、平安時代の集落が確認された場所の隣接地に千曲錦酒造株式会社において工場廃水処理施設が計画されたため試掘調査を実施した。

調査の結果

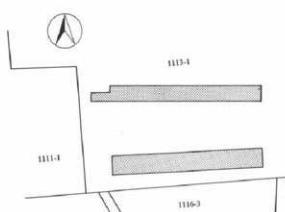
調査地内に幅3mのトレンチを2本設定して試掘調査を行った結果、遺構は存在しなかった。遺物は平安時代と思われる土器の小片が1点採取された。



基本層序



トレンチ掘削状況



周防畑遺跡群10調査全体図(1:500)

試掘調査

30 上の木戸遺跡1

所在地 佐久市大字志賀字上ノ木戸 1584 外

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 県道改良事業

調査期間 平成12年3月17日～24日

面積 6,400㎡

調査担当者 須藤 隆司



上の木戸遺跡1位置図 (1:10,000)

立地と経過

上の木戸遺跡は、佐久市大字志賀地籍に所在する。立地は志賀川に面した山麓緩斜面である。佐久市遺跡詳細分布調査では平安時代の遺跡として把握されていた。今回、佐久建設事務所による県道改良事業が遺跡内に計画されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

上の木戸遺跡及びその周辺の道路建設予定地において、大小14本のトレンチを設定して、遺構・遺物の確認調査を行った。上の木戸遺跡とされた台地上の堆積状況は、大半の場所が耕作土下が浅間山起源のテフラからなるローム層であり、耕作土下が基盤の岩盤である地点も存在した。遺跡東側の低地部では、耕作土下に浅間山起源の黒ボク土の堆積が確認された。調査結果は、遺構・遺物共に確認されず、調査区に遺跡は存在していなかった。



上の木戸遺跡1調査トレンチ (1)



上の木戸遺跡1調査トレンチ (2)

試掘調査

31 未周知

所在地

No 26 佐久市大字根岸字下山ノ神 1047-1

No 31 佐久市大字前山字坂峯 1055

No 32 佐久市大字前山字めめず原 1530-1

開発主体者 中部電力株式会社長野支店

開発事業名 送電線鉄塔建設

調査期間 平成 11 年 7 月 10 日～12 日

平成 12 年 3 月 8 日～22 日

面積 675㎡

調査担当者 須藤 隆司

立地と経過

今回、中部電力株式会社により八ヶ岳北麓に 22 箇所の送電線鉄塔建設事業が計画された。山林のため、遺跡の確認が実施されていなかったが、数地点では地形的に遺跡の存在が予想されたため、試掘調査を実施した。

調査の結果

今年度は No26・31・32 の 3 地点：面積各 225㎡で試掘調査を行った。No26 ではトレンチ 2 本を設定し、岩風化土までの調査を行ったが、斜面地であり、遺構・遺物は確認されなかった。No31 ではトレンチ 1 本を設定し、ローム層中深さ 2m の調査を行ったが、旧地形は斜面地であり遺構・遺物は確認されなかった。No 32 ではトレンチ 2 本を設定し、ローム層中深さ 2m の調査を行った。平坦地であり、八ヶ岳第 4 テフラより下位の 3 枚の軽石層が確認され、安定した堆積状況にあったが、遺構・遺物は確認されなかった。



未周知 試掘位置図 (1:10,000)



No32 試掘トレンチ

立会い調査

32 野沢館跡5

所在地 佐久市大字原字屋敷452-9

開発主体者 佐久市 土木課

開発事業名 道路改良工事

調査期間 平成11年8月19日

面積 25.2㎡

調査担当者 上原 学



野沢館跡5位置図 (1:10,000)

立地と経過

野沢館跡は佐久市原地積、千曲川右岸の沖積地に所在し、付近一帯は標高674～676mの比較的平坦な地形を見せる。調査区は館跡中央付近に所在する伴野城跡の西100mに位置し、標高は675mを測る。

今回、佐久市土木課による道路改良事業が行われることとなり、遺構の有無を確認するため立会い調査を行った。

調査の結果

工事によって掘削された箇所的狀況確認を行った。その結果、遺構・遺物は認められなかった。



野沢館跡5調査全体図 (1:1,000)



調査状況

立会い調査

33 深堀遺跡群4

所在地 佐久市大字瀬戸字鷺ノ宮 447-3 外

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 県道香坂中込線拡幅工事

調査期間 平成 11 年 8 月 23 日

面積 234㎡

調査担当者 富沢 一明



深堀遺跡群 4 位置図 (1:10,000)

立地と経過

深堀遺跡群は佐久市のほぼ中央部に位置する。近年、農地の圃場整備が台地全体で行われ、それに伴う試掘調査と発掘調査がなされた。その結果、台地南西側では弥生時代中期の集落址が、また台地南端では古墳時代前期～中期の小集落が検出された。台地全体に広がる集落は平安後期の集落址であった。また、台地の西端に位置する八反田城跡の関連と考えられる堀・溝跡が無数に検出された。

今回、遺跡群の東端に位置する県道拡幅工事にともない、遺跡の有無を確認するため立会い調査を実施した。

調査の結果

対象地内において立会いを行ったが、遺構は検出されず土師器片 5 片が出土したのみであった。なお、黒色土層下には白色の粘土層が確認された。



調査状況 (北から)

立会い調査

34 館ヶ沢A遺跡1

所在地 佐久市大字内山字館ヶ沢16-20

開発主体者 (有) 八千穂高原開発協会

開発事業名 宅地開発

調査期間 平成11年10月8日

面積 2,876.83㎡

調査担当者 富沢 一明



館ヶ沢A遺跡1位置図 (1:10,000)

立地と経過

館ヶ沢A遺跡は佐久市の東端に位置する。周辺は滑津川とその支流により解析された奇岩で有名な内山峡が東西に延びている。遺跡は内山峠にさしかかる鍋割沢川近くにある。

今回、遺跡の西端に宅地開発の計画され、遺跡の有無を確認するため立会い調査を実施した。

調査の結果

対象地内は鍋割沢川の支流脇にあたり、沢により解析された小渓谷を呈している。沢脇は山体の崩落によるものか礫混合のローム土が地形とは不自然に堆積していた。

立会い調査の結果、遺構・遺物ともに確認されなかった。



調査状況 (東から)

立会い調査

35 一本松砦跡1(隣接)

所在地 佐久市大字常和字山の神 2331-3

開発主体者 小林 隆夫

開発事業名 ヘリポート格納庫新設

調査期間 平成11年10月20日

面積 340㎡

調査担当者 上原 学



一本松砦跡1(隣接)位置図(1:10,000)

立地と経過

一本松砦は佐久市の東、常和地積の丘陵地帯に位置し、西には平賀城跡が存在する。調査区は一本松砦跡の東に隣接する地域で、標高889mを測る。

今回、ヘリポート格納庫新設工事が行われることとなり、立会い調査を行った。

調査の結果

工事に伴う造成に先立ち、調査区内にトレンチを設定し調査を行ったが、遺構・遺物は認められなかった。



一本松砦跡1(隣接)調査全体図(1:1,000)



調査状況

立会い調査

36 栗毛坂遺跡群18

所在地 佐久市大字岩村田字鶴沢端 3814-1

3819、3821-1、3822-1・3～7

開発主体者 佐久建設事務所

開発事業名 緊急地方道路整備事業A
(主要地方道佐久軽井沢線)

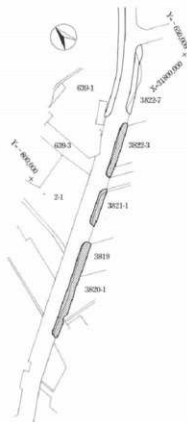
調査期間 平成11年11月17-18日

面積 270㎡

調査担当者 林 幸彦

立地と経過

栗毛坂遺跡群は、佐久市岩村田の北部から御代田町境にかけて広く展開し、標高は705～760mを測る。上信越自動車道や岩村田北部土地区画整備事業が進められ、発掘調査が数多くなされて



栗毛坂遺跡群18調査全体図(1:3,000)



栗毛坂遺跡群18位置図(1:10,000)

ている。湯川右岸の低位段丘面からは、縄文時代早期・前期、古墳時代前期・後期の遺構と遺物が検出されている。台地上からは、縄文時代早期・後期、弥生時代後期、古墳時代前期・後期、奈良、平安時代、中世以降の遺物・遺構が発見されている。今回、佐久建設事務所が道路整備事業を計画したが、のり面が主で面積が狭く、付近の遺物散布状況希薄のため、工事実施時に立会をし、遺構と遺物の確認を行った。

調査の結果

工事着工時に、重機で表土除去された後に立ち会った。



表土下20～30cmで浅間第一軽石流(P1)に至った。遺構は検出されなかった。

栗毛坂遺跡群18調査地点近景(南から)

立会い調査

37 新町遺跡7

所在地 佐久市中込中込字狐塚 2124-2 外1筆

開発主体者 長野県佐久建設事務所

開発事業名 県単街路事業

調査期間 平成12年2月28日

面積 255㎡

調査担当者 上原 学



新町遺跡7位置図 (1:10,000)

立地と経過

新町遺跡は佐久市中込の中込川と田子川に挟まれた沖積地に展開する。調査区は遺跡群の北にあり、中込駅南の線路沿いに位置する。

今回、佐久建設事務所による県単街路事業が行われることとなり、遺構の破壊をさけるため立会い調査を行った。

調査の結果

工事に伴う造成に先立ち、調査区内にトレンチを設定し調査を行ったが、遺構・遺物は認められなかった。



新町遺跡7調査全体図 (1:1,000)



調査状況

1999年度(平成11年度)市内遺跡発掘調査一覧表

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	面積(m ²)	処置	調査期間	担当者
1	戸敷遺跡群47塚遺跡II	市土地開発公社	新下田	市道改良	1,017.50	試掘	H 11.4.15	上原
2	宮の前遺跡1(隣接)	佐久市 児童課	塚原	児童館建設	755.00	試掘	H 11.5.25	富沢
3	周防畑遺跡群6(隣接)	佐藤文男	長土呂	共同住宅建設	1,127.00	試掘	H 11.6.24	富沢
4	円止坊遺跡V	株式会社ベシシア	岩村田	駐車場進入路	69.00	試掘	H 11.6.28 ~ 7.7	森泉
5	金山遺跡3(隣接)	朝エス・エス・ブイ	野沢	店舗建設	11,773.00	試掘	H 11.7.5 ~ 7.10	富沢
6	除取遺跡群7	柳木下雄	小田井	プレハブ平屋建設	115.00	試掘	H 11.7.23	富沢
7	岩村田遺跡群23	中沢通太郎	岩村田	共同住宅建設	1,429.00	試掘	H 11.7.28	富沢
8	一本柳遺跡群8	関ライダーズドック	岩村田	店舗建設	728.00	試掘	H 11.7.29	富沢
9	中原遺跡群22	柳沢修二郎	中込	共同住宅建築	1,302.00	試掘	H 11.8.23	富沢
10	猿久保畑敷遺跡群4	板山孝平・せい	猿久保	共同住宅建設	1,733.22	試掘	H 11.8.27	上原
11	枇杷坂遺跡群16	大和ハウス工業販売支店	長土呂	ガソリンスタンド建設	2,171.00	試掘	H 11.8.31 9.1・14	森泉
12	橋村遺跡群1	佐久市農業協同組合	平賀	水稲育苗施設建築工事	2,467.59	試掘	H 11.10.23-23	上原
13	周防畑遺跡群7	佐久エレクトロニック	長土呂	工場建設	2,724.00	試掘	H 11.10.25 ~ 27	富沢
14	三ノ束遺跡群2	佐久市農業協同組合	三塚	事務所建設	500.00	試掘	H 11.10.28-29・30	富沢
15	中原遺跡群23	岡田園不動産	中込	建売分譲用地造成	2,815.00	試掘	H 11.11.19	羽毛田
16	西浦遺跡群2	井山公司	本新町	アパート建設	1,448.00	試掘	H 11.11.24-25	富沢
17	吹付遺跡1	N.T.T移動通信網局	香坂	通信用鉄塔建設	339.70	試掘	H 11.12.8-9・10	須藤
18	岩村田遺跡群24	西名鉄建設工業	岩村田	店舗建設	3,887.14	試掘	H 11.11.8-9・13-16	富沢
19	西近津遺跡群3	大島建設㈱	長土呂	宅地造成	1,117.00	試掘	H 11.12.21	出澤
20	周防畑遺跡群8	朝浅岡農場	長土呂	宅地造成	13,927.44	試掘	H 11.11.8 ~ 25	林
21	中西ノ久保遺跡群2	飯原正人	岩村田	店舗建築	754.00	試掘	H 11.11.16 ~ 20	林
22	西赤畑遺跡10	萩原福太郎	岩村田	宅地造成	1,212.91	試掘	H 11.11.30	林
23	東五里田遺跡3	佐久市 消防課	野沢	消防用防火水槽新設工事	86.53	試掘	H 12.2.1	出澤
24	松の木遺跡2(隣接)	佐久市 消防課	岩村田	消防用防火水槽新設工事	86.53	試掘	H 12.2.9	出澤
25	周防畑遺跡群9	株式会社エンジンアリング	長土呂	工場建設	582.00	試掘	H 12.2.16	上原・出澤
26	未周知	佐久市 情報政策課	中込	地域情報センター建設	2,800.00	試掘	H 12.2.23	上原・出澤
27	枇杷坂遺跡群17	佐久市 区調整課	岩村田	岩村田西町自治会地区再整理	266.00	試掘	H 12.2.17	森泉
28	尾塚遺跡2	松井勝也	鳴瀬	農地造成	688.00	試掘	H 12.3.21-22	羽毛田
29	周防畑遺跡群10	千原隆酒造㈱	長土呂	工場廃水処理施設建設	200.00	試掘	H 12.3.23	小林
30	上の水戸遺跡1	佐久建設事務所	志賀	県道改良事業	6,400.00	試掘	H 12.3.17 ~ 24	須藤
31	未周知	中部電力長狭野支店	前山	送電線鉄塔建設	675.00	試掘	H 11.7.10-12 3.8-22	須藤
32	野沢遺跡5	佐久市 土木課	原	道路改良工事	25.20	立会	H 11.8.19	上原
33	深瀬遺跡群4	佐久建設事務所	瀬戸	県道香坂中込線拡幅工事	234.00	立会	H 11.8.23	富沢
34	川ヶ谷A遺跡1	朝八千穂高原開発協会	内山	宅地開発	2,876.83	立会	H 11.10.8	富沢
35	一本松遺跡1(隣接)	小林隆夫	常和	ヘリポート格納庫新設	340.00	立会	H 11.10.20	上原
36	栗毛坂遺跡群18	佐久建設事務所	岩村田	緊急地方道路整備事業A	270.00	立会	H 11.11.17-18	林
37	新町遺跡7	佐久建設事務所	中込	県平街路事業	255.00	立会	H 12.2.28	上原



付 図 1999年度市内遺跡発掘調査位置図 (1:50,000)

佐久市埋蔵文化財調査報告書

- | | |
|--|---|
| <p>第1集 『金井城跡』
 第2集 『市内遺跡発掘調査報告書1990』
 第3集 『石附堂址群Ⅲ』
 第4集 『大ふけ』
 第5集 『立科F遺跡』
 第6集 『上曾根遺跡』
 第7集 『三貫畑遺跡』
 第8集 『藪の下遺跡』
 第9集 『国道141線関係遺跡』
 第10集 『聖原遺跡Ⅱ』
 第11集 『赤坂道外遺跡』
 第12集 『若宮遺跡Ⅱ』
 第13集 『上高山遺跡Ⅱ』
 第14集 『栗毛坂遺跡』
 第15集 『野馬久保遺跡』
 第16集 『石葺遺跡』
 第17集 『市内遺跡発掘調査報告書1991』(1~3月)
 第18集 『曾根遺跡』
 第19集 『上芝宮遺跡』
 第20集 『下聖原遺跡Ⅱ』
 第21集 『金井城跡Ⅲ』
 第22集 『市内遺跡発掘調査報告書1991』
 第23集 『南上中原・南下中原遺跡』
 第24集 『上聖原遺跡』
 第25集 『上久保田Ⅳ』
 第26集 『藤塚古墳群・藤塚Ⅱ』
 第27集 『上久保田Ⅲ』
 第28集 『曾根新城V』
 第29集 『山法師遺跡B・筒村遺跡B』
 第30集 『市内遺跡発掘調査報告書1992』
 第31集 『山法師遺跡A・筒村遺跡A』
 第32集 『東ノ割』
 第33集 『聖原遺跡Ⅳ・下曾根遺跡Ⅰ・前藤部遺跡2』
 第34集 『西一本柳遺跡Ⅰ』
 第35集 『市内遺跡発掘調査報告書1993』
 第36集 『蛇塚B遺跡Ⅲ』
 第37集 『西一本柳遺跡Ⅱ・中西ノ久保遺跡Ⅰ』
 第38集 『南下中原遺跡Ⅱ』
 第39集 『中屋敷遺跡』
 第40集 『寺畑遺跡』
 第41集 『曾根新城Ⅰ~Ⅳ・V他』
 第42集 『青山』
 第43集 『権現平遺跡』</p> | <p>第44集 『寺流遺跡』
 第45集 『市内遺跡発掘調査報告書1994』
 第46集 『瀨り遺跡』
 第47集 『上芝宮遺跡V』
 第48集 『池畑城跡』
 第49集 『根々井芝宮遺跡』
 第50集 『藤塚遺跡Ⅲ』
 第51集 『寺中遺跡・中屋敷遺跡Ⅱ』
 第52集 『坪の内遺跡』
 第53集 『円正坊遺跡Ⅱ』
 第54集 『市内遺跡発掘調査報告書1995』
 第55集 『番屋前遺跡Ⅰ・Ⅱ』
 第56集 『聖原遺跡Ⅳ』
 第57集 『高師町遺跡Ⅱ』
 第58集 『下穴虫遺跡Ⅰ』
 第59集 『市内遺跡発掘調査報告書1996』
 第60集 『曾根城遺跡Ⅱ』
 第61集 『割地遺跡』
 第62集 『野馬久保遺跡Ⅱ』
 第63集 『西大久保遺跡Ⅲ』
 第64集 『梨の木遺跡Ⅳ』
 第65集 『中宿遺跡』
 第66集 『中西Ⅱ・仲田・寺畑Ⅱ』
 第67集 『供養塚遺跡』
 第68集 『前藤部遺跡』
 第69集 『高山遺跡Ⅰ・Ⅱ』
 第70集 『観音堂遺跡』
 第71集 『市内遺跡発掘調査報告書1997』
 第72集 『市道遺跡Ⅱ』
 第73集 『西一本柳遺跡Ⅲ・Ⅳ』
 第74集 『五里田遺跡』
 第75集 『八風山・五斗代』
 第76集 『南近津遺跡』
 第77集 『番屋前遺跡Ⅱ』
 第78集 『蛇塚遺跡・蛇塚古墳』
 第79集 『四ツ塚遺跡Ⅰ』
 第80集 『四ツ塚遺跡Ⅱ』
 第81集 『紫師寺遺跡』
 第82集 『市内遺跡発掘調査報告書1998』
 第83集 『下聖原遺跡Ⅳ』
 第84集 『権名平遺跡』
 第85集 『柳堂遺跡』</p> |
|--|---|

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第86集

市内遺跡発掘調査報告書1999

2001年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市大字中込3056

文化財課

〒385-0006 長野県佐久市大字志賀5953

Tel 0267-68-7321

印刷所 株式会社コックス

